

【目次】

- 年度の折り返しにあたり、心がけたいこと
- 危険な箇所や感染症から身を守ろう
- 安全・安心ほっと情報（スクールロイヤー（S L）の助言より）
- メルマガに寄せられたご意見紹介

---

年度の折り返しにあたり、心がけたいこと

---

●学校行事後の切り替え

「11月危機」「魔の11月」という言葉があります。運動会や文化祭、各種のコンクールなど大きな行事が終わった後の脱力感などから、学習意欲の低下や学級の荒れなどが起こりやすい時期だといわれています。行事をやりとげた集団としての成長を認めながら、年度後半では、子どもたち一人ひとりがそれぞれの進級・進学に向けた目標を明確にできるよう指導していきましょう。

●教師のコミュニケーションを見直す

自分の気持ちや考えを率直に正直に、その場にあった適切な方法で表現しようとするアサーションは、教職員にこそ必要なコミュニケーションスキルです。意見を出し合って譲ったり譲られたりしながら歩み寄り、互いに納得のいく結論を導く話し合いはもちろん、抱え込みを避け周囲に支援や援助を求めるためにも役立ちます。

---

危険な箇所や感染症から身を守ろう

---

●学校の危険な場所がわかっていますか

教室や遊具のある場所など児童生徒が日常的に活動を行う箇所は常に注意を払いましょう。また、校内に危険な箇所や修繕をしていない施設等がある場合はロープ・張り紙等により児童生徒が立ち入らない措置を意識的に行いましょう。「防災・避難対策マニュアル2017」（大分県教育委員会）10頁～13頁を参考に校内点検を！

●食中毒を起こさないために入念な手洗いを

年間に発生する食中毒の約4分の1が冬場に発生しており、そのうち約7割が「ノロウイルス」が原因です。効果的な手洗いの手順として水と石鹸でよく泡立たせて①手のひらと甲②指先・爪の間③指と指の間④親指と人差し指の間⑤手首をよく洗いウイルスを取り除くことが重要です。

---

安全・安心ほっと情報（スクールロイヤー（S L）の助言より）

---

Q（学校）：DVが原因で別居中の父親から「子どもの学校での様子や友達関係について教えてほしい」との要望があった。学校として回答してよいか。

A（S L）：母親へのDVならびに子どもへの虐待（DVを目にしたことでも虐待となる）案件を前提として考えなければならず、母親、本人の人権を守るためにも回答はできない。「学校としては教育委員会の指示で情報提供できない」と回答することが適当。

---

メルマガに寄せられたご意見紹介

---

●中学校教職員の方より9月号の記事へのレスポンス（文章は一部省略）

子どもは学習や課題に対する困りを自覚していなかったり、自覚していても怒られたり責められたりするのではないかと感じて言ってくれません。教師がそこに気づき助け、導いていく事で学力の向上だけではなく、不登校予防などにも繋がって行くと思います。

---

◎メルマガに対するご意見や取り上げてほしいテーマは以下から投稿してください。

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/8oNP6Dkf>

◎過去のバックナンバーは以下のURLから御覧いただけます。

<http://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/mailmaga.html>

---

配信元：大分県教育庁学校安全・安心支援課

URL：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/31450/>